

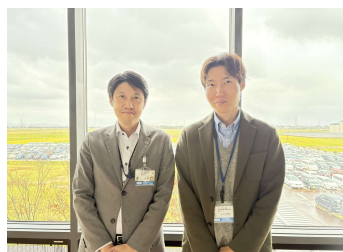
Interview : 金属加工×脱炭素の街つばめを目指して

東京支店 営業の村山です。

11月号で取り上げた阿部工業様がある燕市。燕市は金属加工の街として有名ですが、近年は脱炭素に積極的に取り組んでいます。そこで、燕市のご担当者様にインタビューを行いました！



燕市 商工振興課/生活環境課 (新潟県)



左:商工振興課 松本様
右:生活環境課 石川様

村山 燕市の脱炭素について、経緯を教えてください。

石川 2022年に、市長が2050年ゼロカーボンシティを目指すことを宣言しました。それと機を同じくして産業界からの声の高まりがあり、市としても積極的に取り組み始めました。そこでまずは現状把握をしたところ、産業部門からのCO2排出量が50%以上を占めていたため、産業界における脱炭素経営の推進を宣言後のファーストステップとしました。

村山 具体的には産業界に対しどのような政策を行っていますか？

松本 カーボンニュートラルを目指す企業として宣言した事業者を市のHPに掲載したり、SDGsに関わる認証取得時に係る費用の一部補助、CO2排出量可視化ツールの提供、太陽光や蓄電池、LED、空調導入に活用できる補助金制度を展開しています。

村山 そういった事業を行うためには、財源確保が重要かと思いますがいかがですか。

石川 本市では国の交付金、具体的にはデジタル田園都市国家構想交付金や再エネ重点加速交付金を積極的に活用しています。また、脱炭素を含むSDGsを、DXとともに総合計画においてひとつの柱として据えました。これにより、全市の課題となったことで予算を確保しやすくなりました。

村山 商工振興課では今後脱炭素をどのように進めていこうと考えていますか。

松本 企業の皆様が脱炭素を進めやすい体制づくりを行いたいと思っています。そのためには、商工会議所工業部会と連携しながら脱炭素経営をしっかりと根付かせ、社員の皆様までに浸透するようにしていきたいです。時代の流れとして、脱炭素やDXの必要性に迫られつつあり、遅れをとってしまうとサプライチェーンから外されてしまう危機感があります。そのリスクに対応するとともに、脱炭素は企業の付加価値を高めることであるという認識を広めていきたいです。そして、燕市は脱炭素な金属加工の街というブランドを高めていきたいと考えています。

燕市役所
住所:新潟県燕市吉田西太田1934番地
電話番号:0256-92-1111(代表)
HP:<https://www.city.tsubame.niigata.jp>

脱炭素EXPOに出展してきました！



2024年2月の脱炭素EXPO in東京ビッグサイトから継続して、2024年10月幕張メッセ、11月インテックス大阪にも出展してきました。

東京ビッグサイトまでは、大手企業の経営企画や同業他社などが多いイメージでしたが、その状況は大きく変わってきているように思えるくらい、大手企業の調達部・資材部・製造部や、中小企業の経営者、経営企画担当、営業担当が増えていました。

今後の待ち受けるEU炭素国境調整メカニズム(CBAM)(※1)が大きいのではないかと弊社は考えております。

2025年秋もインテックス大阪にて出展を予定しております！



(※1)CBAMとは？
についてはこちらを参照ください！
出典：日本貿易振興機構(ジェトロ)

当社HP	Youtube	CO2比較.com	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック	当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック	脱炭素の情報はこちらをチェック	Instagram始めました！	補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！
				ゼロプラス公式 大場社長公式

問い合わせ先
 〒 664-0858
 兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
 TEL 072-764-5340
 FAX 03-6800-5265
 Mail info@zeroplus-consul.co.jp

2025年補助金情報！！



2024年12月17日に補正予算が成立しました。

『ものづくり補助金』や『IT補助金』など、皆様もよくご存じの補助金を実施されるだけでなく、

『新市場進出補助金』や『中小企業成長加速化補助金』といった新しい補助金も登場！！

今回は、2025年に実施される各種補助金について、ご紹介いたします。

各種補助金の主な内容

補助金名称	補助金額	補助率	活用イメージ
ものづくり補助金	750万円～ 2500万円	1/2～2/3	新製品・サービスの開発に資する設備投資
省エネ補助金 (Ⅲ設備単位型)	最大1億円	1/3以下	既存設備から省エネルギー性能の高い設備への更新
中小企業 省力化投資補助金 (カタログ注文型)	200万円～ 1,000万円	1/2以下	人手不足の状態にある中小企業等の簡易で即効性がある省力化投資
中小企業 省力化投資補助金 (一般型)	750万円～ 8,000万円	1/3～2/3	個別の現場の設備や事業内容等に合わせた多様な省力化投資
中堅・中小 成長投資補助金	最大50億円	1/3以下	賃上げに向けた省力化等の投資金額10億円以上の大規模投資
新市場進出補助金	新設のため 詳細不明	新設のため 詳細不明	新事業進出・構造転換を目的とした投資 ※再構築補助金の後続
中小企業 成長加速化補助金	新設のため 詳細不明	新設のため 詳細不明	売上高100億円を目指す成長志向型の中小企業における大胆な設備投資

★詳細が未発表の補助金もあるため、実際の補助金額・補助率とは異なる可能性があります。

代表から一言

皆さま、新年あけましておめでとうございます。さて2025年ですが、大きな変化の一年になることは間違いございません。団塊世代全員が75歳を迎え、人口の20%以上が後期高齢者になります。働ける人はどんどん減少し産まれる数は更に少なくなっています。労働力不足に対する、自動化、ロボット化、AI化はまったなしです。消費の減退という大きな環境変化が控えています。また、インフレ経済の定着という問題も重要です。価格勝負のデフレマインドから早急に脱却し、生産能力や納期で勝負するインフレ経済化での最適化行動を実践する必要があります。さらに、地球規模での気候変動も肌感覚で認識できるレベルになっています。大量生産、大量廃棄型経済から、資源循環型経済への転換は、全人類としての共通の課題となっています。この世界的な潮流に逆らうことは許されない時代へと変化してきています。会社を永続させていく為には、ますます先読みの能力が必要になってきています。良質の情報と実践的なノウハウを提供しつづけ、皆様と共存共栄できるゼロプラスグループでありたいと考えていますので、引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

